答　指定ごみ袋などの無料化については可能性がゼロではないが、まずは、将来における、ごみの減量化の推計や成果、処理経費の収支などを分析し、次の世代に過度な負担を残さない持続可能なごみ行政の運営を最重要に考える必要がある。

　指定ごみ袋などの有料化により、ごみ排出量の減少にかかる経費の削減は見込めるが、人件費や物価の高騰、現在協議中の新しいごみ処理施設の更新費用などを勘案すると、処理経費面での無料化の可能性は極めて低いと考える。

　一方、新たなごみ施策の最終目標は、３Ｒの推進による循環型社会の構築であり、市民一丸となって、これ以上の３Ｒの推進は困難であるというところまで達成した場合には、処理経費とのバランスを考慮しつつ、廃棄物減量等推進審議会などにおいて無料化を含むさまざまな議論を開始したい。しかし、環境省が示すとおり、無料化よりも、有料化の見直しによる、段階的なごみ袋の値下げが現実的であると考える。

高橋　保　議員

（一般質問）

１　公共施設の空調整備について

いざという時のために公共施設の環境整備を！

問　非常用電源設備や電気自動車、消費電力を抑えたガスヒートポンプエアコンの導入など、市内公共施設における緊急時の電源確保に取り組む必要があると認識しているが、市はどのように考えているのか。

　また、空調設備が整備されていない公共施設については、今後どのように整備を進めていくのか。

　更に、公共施設マネジメントの縮充の観点から、公共施設の再編を行う場合、空調設備の導入・更新も併せて計画する必要があると考えるが、今後どう取り組むのか。

答　非常用電源設備が未整備である施設全てに対応することは、多額の費用を要するとともに、燃料や発電設備の設置スペースを確保する必要があるため、直ちには難しいが、緊急時に電源を確保するため発動発電機を搭載してトラック運搬できるよう、日頃から地元業者などとの協力体制を整えていくことは非常に有効な手段であると考えている。

　本市と民間企業で締結している「災害時における電動車両等の支援に関する協定」に基づき、災害の被災状況に応じて電気自動車などの貸与を受けることができる体制を整えており、ＥＶ車のカーリースの制度導入についても検討していきたい。なお、ガスヒートポンプエアコンについては、導入費用や有効性をじゅうぶん見極めた上で、調査研究を進めていきたい。

発動発電機を搭載したトラック

　空調設備の整備について、指定避難所の中でも多くを占める小・中学校施設のうち、学校体育館は未整備の状況である。しかし、まずは、児童・生徒の安全を確保することを優先し、校舎の外壁の安全確保と耐震補強に予算を投入していきたい。今後は、小・中学校の体育館も含めた公共施設全体について、効率的で効果的な空調設備の在り方や整備計画の立案について全庁的に検討していきたい。

　公共施設マネジメントの縮充の観点からの取組については、学校再編や公共施設の複合化などを検討する際には、緊急時の電源確保の整備や利用者が快適に利用できるよう空調などの整備についてもじゅうぶんに検討を行いながら、更なる縮充の取組を本市全体で進めていきたい。

佐々木　充　議員

（一般質問）

１　ＳＤＧｓ未来都市推進事業について

ＳＤＧｓへの貢献度向上と活動の更なる推進を！

問　ＬＯＶＥ　ＳＡＩＪＯポイントアプリのＳＤＧｓメーターによると、地域消費への貢献が60パーセントと高い一方で、環境、社会、経済への貢献は、それぞれ１桁となっている。地域消費だけがＳＤＧｓの目標ではなく、環境、社会、経済の各分野においてもバランスの取れた貢献が求められる。今後、各分野における貢献度をどのように向上させていくのか。

　また、アプリに掲載されているＳＤＧｓ活動は非常に少ないが、ＳＤＧｓ活動をどのように推進していくのか。